

事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：飲食業（日本そば店）
譲渡者：芭蕉庵 飯田昇
譲受者：高橋 明史（創業者）
譲渡方法：事業譲渡
引継ぎ期間：令和5年9月（初回面談）～令和6年3月
支援方法：二次対応

事業引継ぎまでの経緯

- ・譲渡側である芭蕉庵は、成田市を拠点にそば粉や調味料に拘りを持った日本そば店。顧客は成田市内のほか、遠くは東京都や神奈川県、福島県から来客するなど多くのファンを抱える有名店。経営者の島田昇氏は自身の高齢化に加え後継者不在であったため将来に不安を抱いていたところ、成田商工会議所の紹介を受けて当センターの支援内容を知り相談に至った。
- ・当センターからは事業承継・引継ぎ支援センターの概要や第三者承継の方法、事業引継ぎデータベースの登録について説明し、当センターにてニーズに合う譲受先を探すこととした。
- ・これを機に複数の譲受企業を探索・紹介したが、トップ面談までには至らず見送りが続いていたことから、更に譲受先を幅広く探索するためM&Aプラットフォームを案内したところ登録を希望され、事業引継ぎサポート業務委託契約を締結。
- ・その後、M&Aプラットフォームから紹介された複数の譲受先の中から、創業を検討していた高橋明史氏と交渉を重ね、土地・店舗・設備等を含めた事業譲渡の方向性に合意。当センターからは専門家派遣を活用し弁護士による契約内容のリーガルチェックの支援を行い、最終的にセンター職員立会いのもと令和6年3月26日に事業譲渡契約を締結するに至った。
- ・譲渡側は、事業存続により店舗及び設備が有効に活用されたほか、仕入先などの取引が維持された。譲受側は店舗及び設備の経営資源を引継ぐことでリスクを低く抑えた創業が可能となり、共に有意義なM&Aが成立した。

事業引継ぎ支援センターでの対応内容

- ・譲渡希望者としてDB登録、譲受希望者とのマッチング支援。
- ・登録民間支援機関の紹介と、譲渡希望者への専門家派遣を活用した契約書のリーガルチェック



譲受側（創業希望者）の高橋明史氏（左側）と、譲渡側の代表である島田昇氏（中央）と代表の奥様である洋子氏（右側）



店舗（芭蕉庵）の外観